

指導と評価の年間計画（家庭総合 1年次生）

岐阜県立土岐紅陵高等学校

科目	家庭総合	学年	1	指導クラス	全クラス	
単位数	2	使用教科書	家庭総合（実教出版）		副教材	生活学Navi（実教出版）

1. 科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を想像する資質・能力を育成することを目指す。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能（技術） a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解しているとともに、それらに係る技能と体験的・総合的に身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

3. 指導及び評価計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動（指導内容）と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	オリエンテーション 第6章 食生活をつくる	家庭総合の学び方 ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法	1	・「家庭総合」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、情報収集、プリントの記入など学習方法、評価の方法を理解する。 ・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法等について理解する。	・ワークシート ・行動観察	○	○	
		1人と食物のかかわり	4	・気候風土や宗教による食生活の違いを認識する。 ・世界の食について調べ、その多様性を理解する。 ・日本の食文化形成を知り、郷土料理について調べまとめる。	・ワークシート ・課題 ・行動観察	○		○
		2 私たちの食生活	3	・自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。 ・健康で豊かな食生活をはぐくむための気づきや工夫を理解する。	・ワークシート ・行動観察	○		○
		3 栄養と食品のかかわり	6	・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身に付ける。	・ワークシート ・行動観察	○		
5 6		4 食品の選び方と安全	3	・季節ごとに旬の食材があることを理解する。 ・表示の読み方を理解し、情報を正確に把握する。 ・食品を見分け、よりよい選択ができるようになる。 ・食中毒に対する予防法を理解する。 ・食品添加物について理解する。	・ワークシート ・行動観察 ・課題	○	○	○
		前期中間考査	1			○		
7		5 食事の計画と調理	7	・家族の食生活の計画と管理ができるようになる。 ・衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。 ・年齢や性別ごとに異なる一日に必要な食事摂取量と、それを満たすための食品の概量を理解する。 ・食物調理技術検定4級の合格を目指す。	・ワークシート ・行動観察 ・実習ワークシート ・検定への取り組み	○	○	
8		6 これからの食生活を考える	3	・日本の食料自給率の現状を理解する。 ・日本の食糧事情を解決するためにできることを見つける。 ・情報に惑わされことなく安全な食品を選択できるようになる。 ・食の安全と環境に配慮した食生活を送ることができるようになる。	・ワークシート ・行動観察	○	○	○
9	第4章 高齢者と かかわる	1 高齢社会に生きる	2	・高齢者、高齢社会への理解を深める。	・ワークシート ・行動観察			○
		2 高齢者を知る	1	・高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する。 ・高齢期の心身の変化による生活行動の不安を理解する。	・ワークシート ・行動観察	○		
		3 高齢者の自立を支える	2	・要介護の高齢者に対して必要な心がけを理解する。 ・日常生活を手助けできる介助の技術を身に付ける。	・ワークシート ・行動観察	○		
		4 高齢社会を支えるしくみ	2	・介護保険制度について理解する。 ・介護をめぐる課題について認識する。	・ワークシート ・行動観察	○		○
		前期末考査	1			○		

10	第8章 住生活をつくる	1 人間と住まい	2	・住まいはどのような機能を持ち、人の生活がその機能とどうかかわっているか理解する。	・ワークシート ・行動観察			○
		2 住まいの文化	2	・日本の伝統的な住居の、建築的な工夫や暮らしの工夫を見つける。 ・日本の住まいの変遷、生活様式などを理解する。	・ワークシート ・行動観察	○		○
		3 住まいを計画する	3	・ライフステージや住まう人の住欲求によって平面計画が変化することを理解する。 ・住まいの生活空間の機能を理解し、空間の特徴や家族のイメージをすることができるようにする。	・ワークシート ・行動観察	○		○
11		4 健康に配慮した快適な室内環境	2	・健康的な室内環境を作るためのさまざまな要素を理解する。 ・安全で長く住み続けるために必要な適切な管理方法を理解する。	・ワークシート ・行動観察	○		○
		5 安全な住まい	3	・家庭内事故や災害について学習し、安全な住まい環境について理解する。	・ワークシート ・行動観察			○
		6 持続可能な住まいづくり	2	・まちの課題について自分なりに解決策を考えることで、一市民としてまちづくりに参画する姿勢を持つ。 ・日本の住宅政策の目的を理解する。	・ワークシート ・行動観察			○
12		後期中間考査	1			○		
1	第3章 子どもとかわる	1 子どもとは	3	・育児を学ぶ意義について理解する。 ・10代の健康が、将来生まれてくる子どもにつながっていることを理解する。 ・子どもの世界とであうことで、自己理解を深める。	・ワークシート ・行動観察			○
		2 子どもの発達	3	・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴について理解する。 ・子どもは、親や保育者などの身近な大人とのかかわりあいの中で発達していくことを理解する。	・ワークシート ・行動観察	○		○
		3 子どもの生活	5	・子どもの食生活・衣生活、遊びについて理解を深める。	・ワークシート ・行動観察			○
		4 子どもをはぐくむ	4	・子どもを産み育てる意義について理解する。 ・親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。	・ワークシート ・行動観察			○
		5 子どものための社会福祉	3	・子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。 ・子どもの権利と福祉の歩みについて理解する。	・ワークシート ・行動観察			○
3	一年間の まとめ	学年末考査	1			○		
			70					